

松尾剣道部

剣道で礼儀、精神を学ぼう

代表 松島 王映

松尾剣道部では、基本動作を大切にしています。礼儀作法、胴着の着方、防具の着装方法、足さばき、竹刀動作を最初に教えます。防具は紐で縛るため、前後の縛り方を覚える事が出来ます。松尾剣道部では、「大きな声で最後までやり通す」を基本に稽古を行なっています。毎週火・土曜日の午後六時半から九時まで、中・高、一般まで練習を行なっています。春の大会で九名の部員が入賞しました。指導者としては大変うれしく思います。松尾剣道部は今年で五十周年を迎える事が出来ました。御指導頂いた先輩方、保護者の皆様の御協力いただいた賜物と思えます。また、入部される方が、年々減少傾向にあります。精神を学ぶには良いと思えます。是非、見学に来て下さい。お待ちしております。



松尾少年ゲートボールクラブ

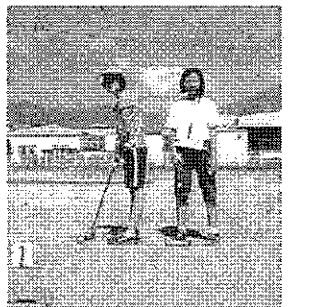
挨拶を大切に!

指導員 平沢 登も恵

ゲートボールの練習は、第一、第二、土曜日に明地区の電水園ゲートボール

場で行って、若男女問わず、誰もが参加出来る競技です。

誰かが来て、誰もが気持ちよくなる行動が、「あいさつと感謝」です。



ゲートボールクラブでは、練習がはじまる前、終わった後、きちんと挨拶するようにしています。そうすれば仲間の人達との信頼も深くなり、家族の方々もしつかり応援してくれまますので楽しく競技が出来ようになります。時々、ゲームをして楽しむ時もあります。皆さん是非出かけて来て下さい。

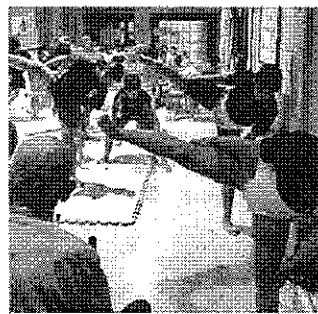
松尾相撲クラブ

感謝の気持ちを伝える活動

代表 清水 里香

相撲クラブでは、『GW高森合宿』と『夏の肩揉みボランティア』が恒例行事となっております。

相撲クラブには「応援される人だけが応援される人」と考え、相撲クラブの子も達、すでに応援されるだけの人となっており、自分も考える。それを子ども達に伝えるためにGW高森合宿を再開した。松尾まちづくり委員会・高



相撲の稽古や所作の披露から試合までみていただいた後、各ユニットをグループごとにも肩揉みをしていただき、おしゃべりをして楽しく過ごさせていた

クラブ・教室だより

森町の全面的バックアップを基に、松尾の農家様や食品関係の企業様を中心に下伊那各所に協賛をお願いして回った。三ヶ月以上を掛け協賛金七件、食品等三十五件の方々からたくさんのお金をいただいた。

合宿中の全食事、お客様の分も含め百食を越える昼食と夕食、宿泊五十人の朝食一回、ほぼ差し入れていただいた食材でまかなうことが出来た。これだけの支援をいただけると言う事は、何事にも真摯に誠実に取り組む相撲クラブの子も達が、多くの方々に応援されていると言うことである。これを子ども達に伝えたくて、感じて欲しい。この合宿を企画した。そんな合宿で、全国から集まった世界チャンピオンを含むたくさんの方々の強豪選手と寝食を共にし、稽古や風呂で共に汗を流したことは、子ども達の血肉となり、この信条が涵養されたのではないかと思っている。

今年度は八月二十五日に老人保健施設ゆうゆうで肩揉みボランティアをさせて頂いた。昨年の活動が好評だったこと、今年度は夏祭りにもお招きいただき三回目の訪問となった。

松尾育成会便り

平成30年度
第39号
松尾地区まちづくり委員会
公民館育成部
青少年健全育成会

楽しかったよ! 『水中生物を捕えよう』

青少年健全育成会行事部長 島田 千恵子

今年の「広報いいだ」の表紙で紹介された、昨年の六月にカルガモの親子が泳いでいた中溝川。この川で「松尾の川の水の中生物を捕えよう」が、六月十七日(日)に行われた。幼児と保護者、小学生、スタッフが参加、計三十三名。講師は、天竜川総合学習館「かわらんべ」の久保田明憲先生。カルガモの写真撮影をされた坂巻章夫さんからもお話を伺った。さて川の中へ。「ヤゴ、ドジョウ、シジミ、ザリガニ、サワガ



坂巻章夫さんのお話



生き物を捕える



水質検査

あき、てれびをみていたら、そこからにぎやかなこえがして、そこにまじって、れつについていてみた。かわでいきものをつかまえていました。くらすがいっしょのおともだちがいました。かわのなかのどじょうや、ちっちゃなさかなや、いろいろないきものをつかまえて、たのしかったです。

朝ごはんを食べていたら外からにぎやかな声が。娘と気になって外へ。ここで初めて「水中生物を捕えよう」を知りました。申込みはしていませんでしたが、虫を見るだけでも嫌だったのですが、本当に楽しんで、一所懸命虫網を側溝に入れ生物を捕っていました。このような体験教室は、本当に貴重であり、私も子供に戻って楽しませてもらいました。今後も、娘と教室に参加させて頂きま

小川の娘と四十才親父と

松尾明 渡辺 篤 史

一年 わたなべ ゆい

ほくは日曜日に、松尾の川たんけんに行きました。川の中に入った時、ほくは不安でした。なぜならきゅうに橋の下をくぐれと言われたからです。こんな所にいるのかな?とすごく不安でした。でもやってみると、すごくよかったです。一番とれたのはドジョウ、オタマジャクシです。うれしかったのはザリガニがとれたことです。川の中は冷たく、水のきれいな場所では、中にいる生き物が見えていました。おばあちゃんの前でやった川遊びとは全然ちがう体験ができてうれしかったです。ほくがきらいな生き物から大好きな生き物まで全体的に、かわらんべの久保田先生に生き物のことをくわしく教えてもらい、かい方、そして、「ドジョウはメダカを食べるのか。」などの質問にも答えてもらって、これからかうのいかせそうです。虫かごももらえるのでオススメです。来年も参加したいです。

水中生き物

五年 宮沢 りく

水の中の生物

五年 下井 昊之介

今年九月から新クラブが誕生しました。クラブ教室の数は十二です。

◆新クラブ紹介◆

今年九月から新クラブが誕生しました。クラブ教室の数は十二です。

松尾少年ゲートボールクラブ

- ①世代を越えて楽しめる、大衆的健康なスポーツとしてより発展させる。
 - ②ルール・マナーを守ることの大切さを身につける。
 - ③継続の楽しみ、技術成長のうれしさ、体力増進・成長を体感する。
- 年会費 500円
練習時間 冬期(12月〜2月)を除く、第2・第4の日曜 午前9〜10時
練習場所 松尾マレットゴルフ場
参加をお待ちしています。

「オリンピック選手とスポーツをしよう」
青戸慎司先生から「速く走るコツ」を学ぶ

七月十九日(木)、松尾小学校体育館で、夏と冬のオリンピックに出場し、元百メートル日本記録保持者の青戸慎司先生をお迎えして、「速く走るコツ」を学ぶ授業が行われました。

この授業が行われた経緯は、松尾まちづくり委員会の「学校体育施設開放運営委員会」で昨年からは、子どものスポーツ離れや、運動能力について話題にしている中で、小学校の子ども達の運動能力が下がっている事実が報告されました。これを受けて、地域としてなんとか支援をしたいという願いからスタートしたものです。

企画段階から、飯田市スポーツ推進委員の田中利治さんをはじめ、東京オリンピックを目指している飯田病院陸上部の皆さんのご協力をいただきました。

平日にも関わらず、飯田病院陸上部から大坪章男監督をはじめ七名が、飯田市スポーツ推進委員の皆さんが七名、そして、青少年健全育成会から十一人が支援にあたりました。

当日は、熱中症が心配される程の暑さでしたが、業務用の扇風機を八台設置したり、氷柱を立てたりして対応しました。

青戸先生の指導は、連学年で一時間ずつ行われ、ご自身が開発された「速く走るコツ」について実技を入れて丁寧に教えていただきました。また飯田病院陸上部の皆さんからは、本物の走りを実際に見せていただき驚きの声が上がりました。午後は、緑ヶ丘中学校陸上競技部の皆さんに講演会が行われました。

青戸先生は正しい走り方や歩き方を教えてくださいました。その先生から直接言葉と身体を使って教えていただいた事は子ども達にとっても大きな財産となるに違いありません。

子どもも真剣に一生懸命、楽しんで走っている姿が印象的でした。正しく速く走れるようになる運動が好きなようになります。興味を湧いてきます。しかし、一度教わったからと言

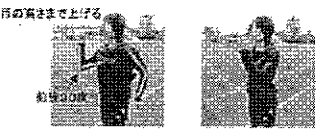
II 腕ふりについて (重要度◎)

・⑤生卵を握る要領で、小さく前に倣え

重要ポイント
「生卵90度」を繰り返し言う

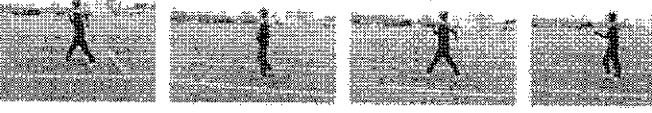


・⑥前後に大きく振る 後ろのヒジも90度



III 速歩きについて (重要度△)

・背筋を伸ばし、早歩き



IV もも上げについて (重要度◎)

・背筋を伸ばし、かかとを上げてスタート



・ももを地面と平行まで上げ、腕も素早く振る



V スタートについて (重要度◎)

・倒れこみスタート練習



・スタンディングスタート



・きき足を後ろにして、つま先をケンケン

「小学校におけるかけっこマニュアル」の利用法

飯田市スポーツ推進委員 田中利治

青戸先生は正しい走り方や歩き方を教えてくださいました。その先生から直接言葉と身体を使って教えていただいた事は子ども達にとっても大きな財産となるに違いありません。

子どもも真剣に一生懸命、楽しんで走っている姿が印象的でした。正しく速く走れるようになる運動が好きなようになります。興味を湧いてきます。しかし、一度教わったからと言

って直ぐに速く走れるようにはなりません。「腰ピン」「生たまご九十度」など、重要なフレーズはきくと子ども達も覚えていきたいと思います。「腕を前後に大きく振る」、「ももは地面と平行になるくらい高く上げて力強く踏み出す」。是非、学校や家庭でこれを使って走ってください。



飯田病院陸上部、スポーツ推進委員のみなさん

小学校におけるかけっこマニュアル

青戸慎司先生が開発したプログラムです
5つの練習項目になっています

- I 姿勢について (重要度 ○)
- II 腕ふりについて (重要度 ◎)
- III 速歩きについて (重要度 △)
- IV もも上げについて (重要度 ◎)
- V スタートについて (重要度 ○)

I 姿勢について (重要度◎)

- ①背筋を伸ばして真っすぐに立つ
- ②つま先を広げてみる 膝を開かない。
- ③腕を前に出してみる
- ④つま先をゆっくり戻し、①の姿勢に



青戸先生

腕ふりの練習

スタートの練習

飯田病院陸上部の選手の方々も一緒に

松尾小の携帯スマホ事情



松尾小学校校長 林 司

今や高校生のスマホ所持率は100%となり、小学生でも増加傾向と...

自分の物として携帯・スマホを所持する児童は二九%...

インターネットでの掲示板やライン、チャット使用については、四一%が利用...

今後、プログラミング教育も導入されます。教師も親も、情報機器使用に関する知識と情報モラルについて、ますます学習しなければならぬ時期がきています。

清水地区

夏休みお楽しみ会

六年 金田 ぎらら

夏休みに入り、地区お楽しみ会があります。私たち清水地区はコミニティでレクリエーションを行いました。



てもらい風船ロケットを教えることもありました。自分たちでつくったロケットは思った以上に飛んで、興奮しました。

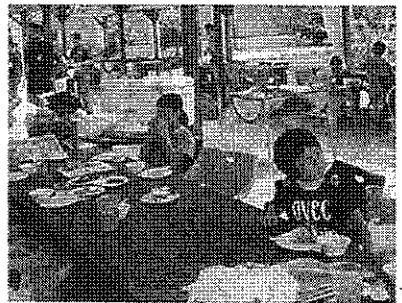
地区だより

久井地区

夏休み恒例のお楽しみ会

支部長 後藤 清治

久井地区児童会は、夏休み中の行事として恒例の久井公園でのお楽しみ会です。



熱中症の心配もあり、急ぎよ保護者のご理解のもと、場所と内容を変更し、かぶちゃん農

出張科学実験教室を実施



ロケットの発射

七月二十三日(日)に松尾小学校六年生(四クラス・百二十三名)を対象にし、育成会の特別事業の一つである出張科学実験教室を開催しました。

科学実験教室

六年 赤羽 優輝

ロケットを作りました。①ロケットの胴体をカレンダーで作る。②カレンダーを丸めロケットの先を作る。③フィルムケースをロケットの先にはめる。④ロケットの足、三つを作る。⑤火薬をつめる。⑥パラシュートをつける。この手順で作りました。

時に、ロケットをキャッチできたのでうれしかったです。カレンダーで作ったロケットが、こわれずに高くまで飛ばすことができて、パラシュートが問題なく出たのでうれしかったです。

科学実験教室

六年 大澤 翼

今日、ロケットを飛ばしました。ほかの中で、一番難しかったのは、先の部分です。とんがっている部分が上手にできなかったけれど、良い格好になったのでよかったです。

楽しかった科学実験教室

六年 岡村 瑚白

科学実験教室で楽しかったこと、うれしかったことが三つあります。一つ目は、難しくて分からなかった時に私たちの机のおばあさんが優しく教えてくれました。



ロケットづくり

二つ目は、ロケットのパラシュートを作る時に大変だったけど大人の人が手伝ってくれたことです。とてもうれしかったです。そのおかげでしっかりとロケットのパラシュートが開きました。

科学実験教室

六年 近藤 楓

一・二時間目に科学実験教室がありました。今年にはロケットを作って校庭で飛ばしました。一番むずかしかったのは、ロケットのパラシュートを作る所でした。



園でのBBQとスイカ割り大会にしました。行きのバスの中で、みんな揃っての移動という事もあり、子供たちの楽しげな様子が見られました。

園の上がりっぱなしで、到着するなり芝の上を駆け回り、設備が整っていたトランポリンなどで楽しく遊びました。お腹をすかせた子供たちは、BBQの準備が出来上がると、待っていました。

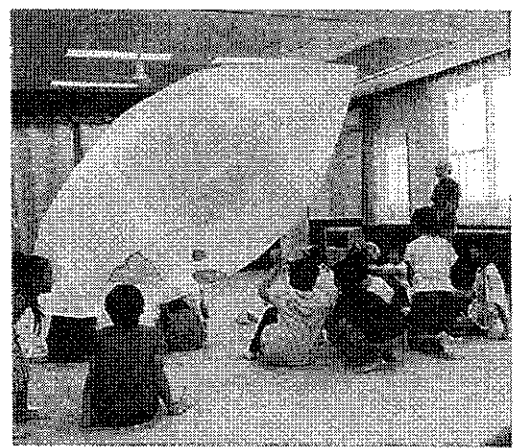
水城地区

サイエンススクールと

きもだめし

六年 北澤 友香

八月五日に、水城コミュニティセンターで



ンターでサイエンススクールときもだめしがありました。サイエンススクールでは、空気について実験しました。風せんを使って大きさを比べたり、テープをまいてみたりとちがいを比べてみる形にしたものが一番遠くに飛ばか実験しました。